

知りたいこと

望むこと

6月定例会で行われた一般質問です。
 くわしくは、図書館や議会事務局に
 議事録があります。
 ホームページでもアクセスできます。
<http://www.town.fateyama.toyama.jp/>

澤崎正義議員



電線の地中化を
 議員 山岳観光新時代が推進されて
 いるが、立山インターから下田ま
 でを観光環境道路とし、電線の地
 中化を。
 調査研究したい
 町長 電線の地中化はISO140
 01の推進に非常に有益で、素晴
 らしいことである。景観条例制定
 に基づき、この沿線をシンボルの
 に位置付けできないか調査研究し
 たい。
 議員 介護認定審査の結果と、立山
 町の特別養護老人ホームへの入所
 希望待機者は。
 健康福祉課長 要支援は169人、
 要介護1は367人、要介護2は
 176人、要介護3は129人、
 要介護4は119人、要介護5は
 142人で合計1102人であつ
 た。立山町の待機者は平成16年4
 月では115人である。
 議員 国民年金制度改革関連法が改

正された。立山町の年金未納、未
 加入者の取り扱いは。
 住民生活課長 14年度の収納率は7
 9・6%で、未納者は社会保険事
 務所の職員等が個別訪問し納入の
 相談をはじめ、周知や啓発を実施
 している。
忠魂碑の運営管理は
 議員 例年施行している戦没者追悼
 平和祈念式典のあり方は。また町
 内の忠霊塔・忠魂碑の老朽化がひ
 どいが、町で管理できないか。
 難しい
 健康福祉課長 近年、遺族の皆様が
 高齢化し、参加者も減少している
 ので、遺族会関係団体と協議中で
 ある。
 総務課長 忠霊塔等が町に4箇所あ
 る。維持管理等に公金を支出する
 のは法の解釈の基準が確定してい
 ない現段階では難しい。



立山インター周辺(辻地内)

「一歩進んだケアネット」を
 議員 現在実施されている地
 域総合福祉事業ふれあい型
 に地区公民館の組織や建物
 を拠点として一歩進んだ地
 域ケアネット21事業を取り
 入れられないか。

数箇所での実施調整中
 健康福祉課長 21事業は、一
 人ひとりにあつたきめ細か
 な支援を強化して福祉機能
 を向上させ、具体的には要
 支援者ごとに数人による支
 援チームを組み、家事支援
 や見守り・徘徊を見かけた
 ときの声かけなどを行う。
 今年度に数箇所の地区で実
 施できないか調整中である。



地域ふれあいサロン(白岩地区)

窪田一誠議員



「技能・芸術認定制度」を
 議員 町の技能・芸術等、人
 知れず衰退の一途をたどり
 消え去るうとしていた文化
 を、今後も継承するために、
 「技能・芸術認定制度」を

認定制を導入したい
 社会教育課長 少子高齢化や
 生活様式の変化により一部
 で衰退していく傾向にある。
 歯止めをかけるために後継
 者の発掘と確保をし、高度
 に体现する保持者・保持団
 体として認定していく制度
 を導入したい。
 商工観光課長「伝統工芸品」
 の指定を行う方法が適切と
 考える。町に存在する埋も
 れた技術・技能の掘り起こ
 しも同時に行っていきたい。

桑原米蔵議員



議員 環境保全対策の主な内
 容は。
 町長 環境の保全は、世界的
 に問題となつている。身近
 な実践活動としては、リサ
 イクルの分別収集、ごみ減
 量化、害虫の一斉駆除、ポ
 イ捨てや不法投棄、飼い犬
 の糞放置の禁止など。さら
 に、水質保全については生
 活排水対策として下水道事
 業に力を入れている。
 または地球温暖化防止の
 目標水準を達成するため、
 町民全員が参加する家庭版
 ISOに取り組み、二酸化
 炭素の削減と家計費の節約
 につなげている。

観光事業のPRは
 議員 町の主要産業の一つと
 して振興している観光事業
 のPRの方法は。
 観光ボランティアガイドを
 養成
 商工観光課長 世界に誇れる



広域圏クリーンセンター 展望台

町づくりのため、スイス・
 中国・韓国などと交流、視
 察をしている。PRは重要
 な要素であり、観光ボラン
 ティアガイド25名を養成し
 た。また「ミス」に代わり
 3名を親善大使に任命した。
 議員 広域圏クリーンセンタ
 ーの展望台の有効利用は。
 企画情報課長 平成15年4月
 1日より、年末年始を除く
 毎日(土日祝も含む)朝9時
 から夕方5時まで見学でき
 るよう配慮している。立山
 連峰をはじめ、能登半島ま
 で見渡す眺望は、町を代表
 するスポットである。